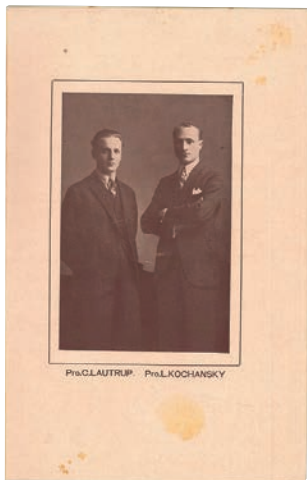


市場の実態を調査させるべくアメリカからイギリス、ドイツ、イタリアなどへ視察に送り出しました。その中でドイツのベヒシュタインこそが世界最善の楽器と確信を持つにいたり、結果としてベヒシュタインピアノの輸入総代理店契約を結びました。さらにドイツからベヒシュタインの技師長を招聘してその製造技術を吸収していくことで日本のピアノ製造技術が大きく向上していくこととなります。ベヒシュタインピアノの物理的・技術的輸入が日本のピアノ産業発展の契機となったと言つて間違いないでしょう。コハンスキー教授、ラウトルupp教授のコンサートが開催されたこの時期は、まさに日本のピアノ産業の開化期に当たる時期といえます。



■現在のベヒシュタイン

現在のベヒシュタイン輸入総代理店である(株)ベヒシュタイン・ジャパンは、昨年1月にここ日比谷の地にフラッグシップショールーム「ベヒシュタイン・セントラム 東京」を開設しました。現在ベヒシュタインはドイツ本国を中心にヨーロッパやアメリカ、アジアなど世界各地の主要都市に旗艦店を積極的に展開しています。日比谷の店舗開設もその世界戦略の一環といえます。

先の戦争で大きなダメージを受けたベヒシュタインでしたが、高いピアノ製造技術と精神は脈々と受け継がれ、近年その品質の良さが世界中で再認識されています。多くの世界的ピアニストからの名声を集めるとともに世界各地の音楽祭やコンクール(※)でベヒシュタインピアノの採用が顕著に増えています。ベヒシュタインはいま、「世界最善のピアノ」と謳われたその歴史に新たな時代の1ページを書き加えている真最中です。伝統あるベヒシュタインとはどんなピアノなのか、ぜひご自身でお試しになってみてください。



※本年度、日本国内におけるトップクラスの権威と伝統のある音楽コンクールのひとつ「日本音楽コンクール」と、70年以上の伝統を誇る学生向け音楽コンクール「日本学生音楽コンクール」にベヒシュタインが指定ピアノとして採用されました。日本音楽コンクールは昨年に続き2度目の採用です。

ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭(フランス)



ツィンダリ音楽祭(ジョージア)

